

Minuma Shun Sai

# 見沼・旬彩

2017年夏号

## 氷川ブリュワリー

武藏一宮氷川神社の参道に近い、さいたま市初の地産(ホップ、大麦)地消型を目指したブリュワリー(ビール醸造所とパブ)です。オーナーの菊池俊秀さんは、長年勤めた会社を退職し、2014年8月6日初出荷。230リットルのタンクで醸造しています。豊潤で美味しい地域密着型のクラフトビールです。(2016年、渋沢栄一ビジネス大賞・特別賞受賞)

大宮区高鼻町1-36-1 TEL. 048-783-5123

営業時間 平日: 17:30 ~ 22:30

土曜日: 16:00 ~ 22:30

日曜日: 16:00 ~ 20:00 (定休日火曜日)

オーナー 菊池俊秀さんと「氷川の杜」シリーズ▶



## 染谷花しょうぶ園

広さ8,000m<sup>2</sup>に、200種・20,000株の可憐で美しい花菖蒲が咲き誇り、6月一ヶ月間に約10,000人が訪れ鑑賞し楽しんでいます。園主の高橋慶治さんは、人々の心に「憩いと癒し」を届けることをモットーに事業を展開しています。



見沼区染谷2-248 TEL. 048-683-8787

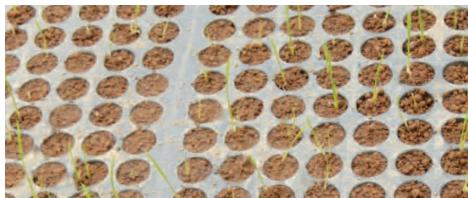
開園期間・時間 6月1日~30日、9:00~17:00

入場料 大人 500円、小人 200円

◀園主 高橋慶治さん

# 見沼・旬彩 見沼のお米 見沼の米作りを守ろう。

## 細沼武彦さんのお米



見沼たんぼの全面積の6%にまで減少した水田で今も稻作を続ける農家さんを何としても応援したい。そのお一人が細沼武彦さんです。大宮市営球場近くの見沼たんぼの5,000m<sup>2</sup>の圃場でコシヒカリを始め、イセヒカリや今年は新しい品種にもチャレンジ! 細沼さんはチャレンジ精神の持ち主で栽培方法も人と違っています。おいしいコメを作りたいとかつてご夫婦で福島まで訪ねて行き、指導を受けて始めた「ポット苗、成苗、疎植栽培」。小さなポットに1つか2粒の種粉を蒔き、20cmほどに育った苗を田んぼに30cm間隔で植えます。田植え直後の田んぼは何とも楚々として頼りなげですが、この農法は苗に十分肥料や太陽の光や風がいきわたり、すくすくと成長、おいしい、見事な収穫量を得ることが出来るのです。

ポット苗作りは手間のかかる作業にもかかわらず、続けるのは細沼さんの米づくりにかける矜持、そして安全、安心な農産物をとの志なのでしょう。

## 『4種のポテトサラダ』

少しずつ残った種類の違うじゃがいもを混ぜ合わせてサラダを作りました。それぞれの特徴が生かされ、一種類のじゃがいもで作るサラダよりも個性が調和し、おいしいサラダが出来上がりました。カレーでも同様にお試し下さい。

### ○材料

じゃがいも(キタアカリ、男爵、インカのめざめ、メークイン)…400g、にんじん…1/2本、きゅうり…1本、玉ねぎ…1/2個、ハム…4枚、塩…小さじ1/3、酢…大さじ2、マヨネーズ…大さじ3、こしょう…少々



### ○作り方

- ①キュウリは薄切りにして塩で揉み、さっと塩分を流して固く絞る。玉ねぎはみじん切り、ハムは短冊切りにする。
  - ②皮をむいて4~6つに切って水にさらしたじゃがいもと、いちょう切りにしたにんじんを茹で、茹だったら水を捨て、じゃがいもだけ鍋に戻し、弱火にかけて水分をとぼす。
  - ③熱いうちに塩、酢を振り入れて混ぜ合わせ、じゃがいもをつぶし、冷ます。
  - ④ボウルに冷めたじゃがいも、にんじんと①を入れ、マヨネーズ、こしょうで調味し、よく混ぜ合わせる。
- 参考: 萩原さとみ著『見沼からのおすそわけ』



細沼さんの米は大和田農産物直売所で販売しています。

大和田農産物直売所  
見沼区大和田町1-1634  
TEL.048-683-8597

## 春岡 丸ヶ崎直売所

地元の朝採れの新鮮野菜、果物、花とお米を扱っていますので、12時半開店前には地元の方が並んでいます。これからの季節のお勧めは、さやえんどう、じゃがいも、にんにく、玉ねぎ等とお聞きしました。

リーズナブルな価格と場所がら地元のお客さん中心のようですが、東大宮から蓮田へ行く出戸(でんと)橋通りのドラッグストア角を南に一本入った住宅地にあります。



見沼区丸ヶ崎 17-1  
TEL.048-687-2045  
営業日時: 火・木・土  
12:30 ~ 16:00



## 「氷川女體神社の名越大祓え」ツアー

### 平成29年7月31日(月) 東浦和駅前広場 13:45集合

東浦和駅→バス→氷川女體神社→見沼氷川公園→大牧自然緑地→浅間神社→バス→浦和駅(16:45解散予定)

### 健やかに夏をすごせることを祈る

市指定 無形民俗文化財の祭礼で、江戸時代より続く夏越しの行事です。罪穢れを人形(ひとがた)に移し、神社の前を流れる見沼代用水に流します。その後、境内の鳥居に取付けられた「マコモ」で作った輪を「8の字」にくぐります。罪穢れを人形に移して水に流し去らせることにより、「夏越しの健康」を祈る伝統の祭礼に参加しませんか。

見沼たんぼ地域ガイドクラブ 参加費: 300円(バス代別途)

申込: 黒澤ガイド TEL.080-1038-6712 FAX.048-687-5543

メール: kurosawa@peach.ocn.ne.jp



## 武藏一宮氷川神社の例大祭

毎年 8月1日、例大祭に天皇家より、勅使が御幣帛(ごへいはく)。神様のお召し物の材料となる5色の絹の反物)、隨員と能楽師を従え勅使斎館より本殿へと参進します。本年 10月28日(土)、盛大に明治天皇御親祭百五十年祭が行われます。



勅使の一行(氷川神社HPより)



勅使と御幣帛(三澤氏より)

## 川嶋農園

19代目の川嶋雅夫・雅子ご夫妻で主に畑(7反)で農産物の生産を行い地元に提供しています。主要な農産物は次のとおりです。特に、サトイモの種芋である蓮葉系「大宮1号」は、形状・食味ともに優れ見沼たんぽの優良品として広まりました。

主な生産物:サツマイモ、サトイモ、大根、ネギ、白菜、人参、キャベツ、ブロッコリー、法蓮草、小松菜、さやえんどう、菜の花等

北区土呂町 2-55-1 TEL.048-663-2514

サツマイモと川嶋雅夫さん▶



## 土呂直売所

JR 土呂駅西口の駅前ターミナルの一角にあります。2時の開店と同時に、地元の採りたての野菜を求める人の列ができます。レジでのアットホームなや



りとりや、お店の前で生産者さんと談笑するお客様など、あったか~い雰囲気満載のお店です。旬の野菜と卵、切り花などもあります。

北区土呂町 1-12

TEL. 048-663-4276 (JA 大砂土支店)

営業日時:火・木・土 14:00 ~ 17:00



長島文孝さん▶



## 栽培指導つき体験型農園



【ヨーロッパ野菜】と【一般野菜】

の2コースがあります。春の植え付け:

約20種類、秋の植え付け:約20種類。

「防鳥ネット」と「収穫期の害獣

除けネット」を設備。講習会:日曜日、全16回、9:00 ~ 11:00、低農薬栽培。「すべての種・苗・肥料・農薬・資材」を提供。イベント「育て上手コンテスト」、「交流会&アスパラ等収穫体験」年間参加費:一般野菜 40,000円、ヨーロッパ野菜 44,000円。全く農業経験のないアマリーでも年間約40種類の野菜作りが可能です。

農園:見沼区片柳東 最寄バス停は「三崎台」

園主:若谷真人(まさと)さん

携帯 090-2213-7794 TEL・FAX. 048-878-1049

緑区高畑 954

## 丸山文隆さんの夏野菜

夏野菜といえば露地栽培のナスやキュウリ、トマト等の定番の他、ネギ、ピーマン、モロヘイヤ、空芯菜など朝採れの新鮮な野菜を購入できる、見沼地域にはそんなお店がいくつもあります。そんな野菜生産者の一人丸山文隆さん。

朝暗い中に収穫してすぐに配達、店に並びます。草も友だち、という丸山さんの畑は農薬を最小限に抑えて蜘蛛などの生き物との共生を生かした野菜づくりです。

ハウス栽培と違って太陽を浴びた野菜たちの



▲丸山さんご夫婦▶



味はまた格別!季節感たっぷり「夏」を感じることでしょう。丸山さんの野菜はヤオコー、マミーマート、ヨークマート、グッドファーム、時々大宮高島屋でどうぞ。

見沼野菜の料理  
オリジナルドレッシング

気持ちが良い春も過ぎ、暑さ厳しい夏になつて参りました。夏といえば、彩り鮮やかな野菜の季節!喫茶ルポーズ特製のオリジナルドレッシングのご紹介です。

玉ねぎをたっぷり使うことでピリッとした辛味があり、きっと夏バテで衰えた食欲を回復させてくれると思います。キュウリにトマト、カボチャといった夏野菜にぴったりなのでぜひ一度お試しください。

## レシピ

玉ねぎ:スライス 1玉 200g

白だし: 50cc

マヨネーズ: 300cc

粗びき黒コショウ: 適量

ミキサーで5分位



▲ルポーズ・関口和司さん



▲ミキサーで攪拌



喫茶ルポーズ

大宮区天沼 1-136-2

TEL.048-657-0202

営業日時:土・日・祝日休み 10:00 ~ 17:00

# 見沼の夏の野菜、果物、お花

## 浅子治久さんの枝豆

夏の味覚は「冷えたビールに枝豆！」が一番。その一等美味しい枝豆を浅子治久さんが見沼区の皆さんに供給しています。浅子さんの農園は東武電車・大和田駅近く、区画整理の進む開発地域の一角。周りは新しい住宅が建ち並び、まさに典型的な都市農業。

日々手広く農業を営む浅子さんは消防団を始め地域活動でも大いに頼りにされる存在。農業は米づくりのかたわら直売所やスーパーマーケットを通じてさまざまな新鮮野菜を地域の人に提供しています。枝豆はもとより、キュウリ、モロヘイヤ、ナス…。いずれも鮮度が勝負の野菜ばかり。朝採れをいかに早く店頭に届けるかに心を砕いています。

浅子さんの評判の枝豆はただ今すぐと生育中。大中小揃った株が順次出番を待っています。店頭に並ぶのは7月から。大和田農産物直売所、市民の森グリーンセンター直売所、マミーマート南中野店でお求めください。



浅子治久さん▶



見沼区膝子 517  
TEL.048-683-0868



## 「ブルーベリー」の摘み取り体験

6月上旬から8月下旬 9時～16時ごろまで(予約不要)。食べ放題の入園料、1人500円(時間制限はありません)。持ち帰り料金、100g/150円。

場所: 緑区大崎 589 (大崎公園そば)

交通: バス・浦和駅東口①番乗場から「念佛橋」下車 5分

連絡先: 「ブルーベリープラザ浦和」(備藤行裕)

TEL.050-3736-5070

FAX.048-878-5059

ホームページ: ブルーベリープラザ浦和

検索

<http://www.blueberry-plaza.com/>



▲備藤行裕さん

## 小島園芸



日光御成街道「膝子直売所」近くで先代から「小島園芸」を運営。夏の花ケイトウはアーリーローズと云うピンクの花で毎年人気があります。輝く緑葉とのコントラストが美しいガザニアは暑さに強く、次々に花が咲きます。

今年は4・5月中旬の土日に開催された見沼区オープンガーデンに参加。切り花、ポット苗など近隣直売所、都内に向けての出荷が主です。

見沼区膝子 517  
TEL.048-683-0868



## 講演会

### 人と環境にやさしい農業の講演会

テーマ: 食品の安全・安心に関する基準  
GAP (Good Agricultural Practice) について

日時: 平成29年6月14日(水) 19:00～20:00

講師: 埼玉県農林部さいたま農林振興センター部長 芦澤秀行さん

会場: 浦和パルコ 10階・浦和コミュニティセンター第4集会室

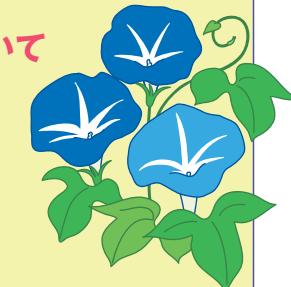
主催: さいたま市ランドコーディネーター協議会

後援: 未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

参加費: 無料

連絡窓口: さいたま市ランドコーディネーター協議会 会長 黒澤兵夫さん

メール: [kurosawa@peach.ocn.ne.jp](mailto:kurosawa@peach.ocn.ne.jp)



未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

### 「危機に瀕する見沼たんぽの斜面林」をどう守るべきか! 3回連続講演・研究会



第1回「斜面林保全と市民団体の活動上の課題」

6月 10 (土) 15:00～上木崎公民館 事務局長 北原典夫さん

第2回「南部領辻地区の斜面林を中心に・生物多様性と斜面林保全」

7月 8日(土) 14:00～上木崎公民館 NPO 法人工エコ 代表 加倉憲一さん

第3回「見沼たんぽ地域の景観形成と斜面林保全の課題」

7月 29日(土) 14:00～上木崎公民館 埼玉大学大学院 准教授 深堀清隆さん

昨年10月に見沼代用水からおおむね100m以内の114箇所の斜面林等を現地踏査しました。

調査の結果:

①約5年間で「消失」してしまった斜面林等が、14箇所、56,357m<sup>2</sup>でした。

②残っている斜面林面積: 537,160m<sup>2</sup>に対する消失林の割合は、10.5%でした。

③この数字は、5年間で、約1割の斜面林等が消失したことであり、単純にいえば50年程度で無くなってしまうという数字です。

この「危機的な状況」を踏まえて、連続の講演・研究会を開催します。

上記講演の連絡先: 北原典夫 TEL.090-2675-1684 (未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会)

## Information

### 初夏の花・40万本のヤブカンゾウを見にきてください。



申込み・問合せ: 見沼たんぽ地域ガイドクラブ TEL.080-1208-4883 (担当: 大神国裕)

江戸時代から続く上山口新田と、ヤブカンゾウの土手をのんびり歩く。さいたま新都心高層ビルを背景に、江戸時代から米作りが続く上山口新田と、初夏の花ヤブカンゾウが40万本も咲く見沼代用水西縁の土手をのんびり歩く。満開のヤブカンゾウの土手、緑の青田、上山口新田をのんびり散策します。

平成29年7月3日(月)

会場: 上山口新田と見沼代用水西縁ヤブカンゾウの土手 (さいたま市見沼区、浦和区)

集合: さいたま新都心駅 9:30／料金: 大人 300円

今号に掲載された、見沼たんぽ地域のお米・野菜・果物・花木 直売所マップ



# 市民が応援する見沼たんぽ地域での人と環境にやさしい都市農業の広報誌 「見沼・旬彩」2017年 夏号

発行: 未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

http://minuma-miraiisan.jp e-mail : minuma@minuma-miraiisan.jp

編集:見沼農業・応援連携部会/デザイン・印刷:有限会社アームズ

発行日:2017年6月5日

We  
Love  
Minima

この見沼農業の応援連携・季刊誌「見沼・旬彩」は、公益財団法人 サイサン環境保全基金様、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟様、三菱UFJ ニコス株式会社様、トヨタレクサス様、住友ゴム工業株式会社様からの助成金で印刷・発行しております。